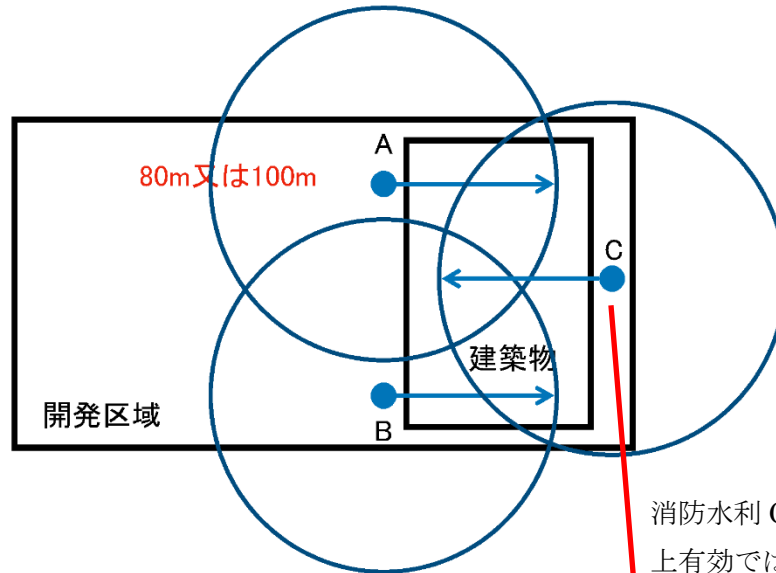
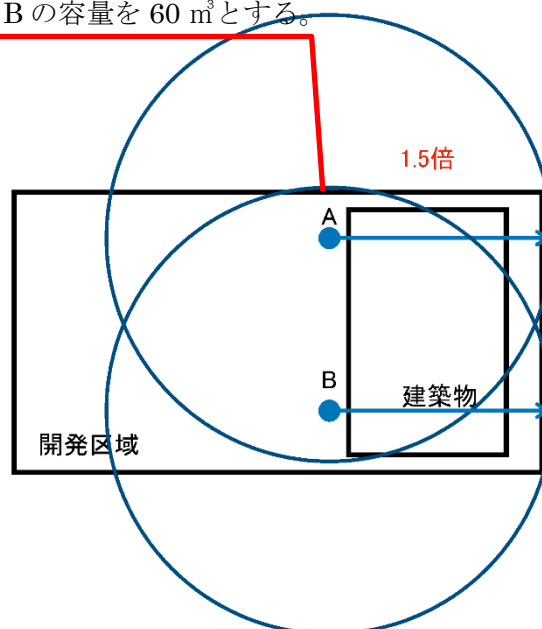


包含距離を 1.5 倍とすることが可能な場合

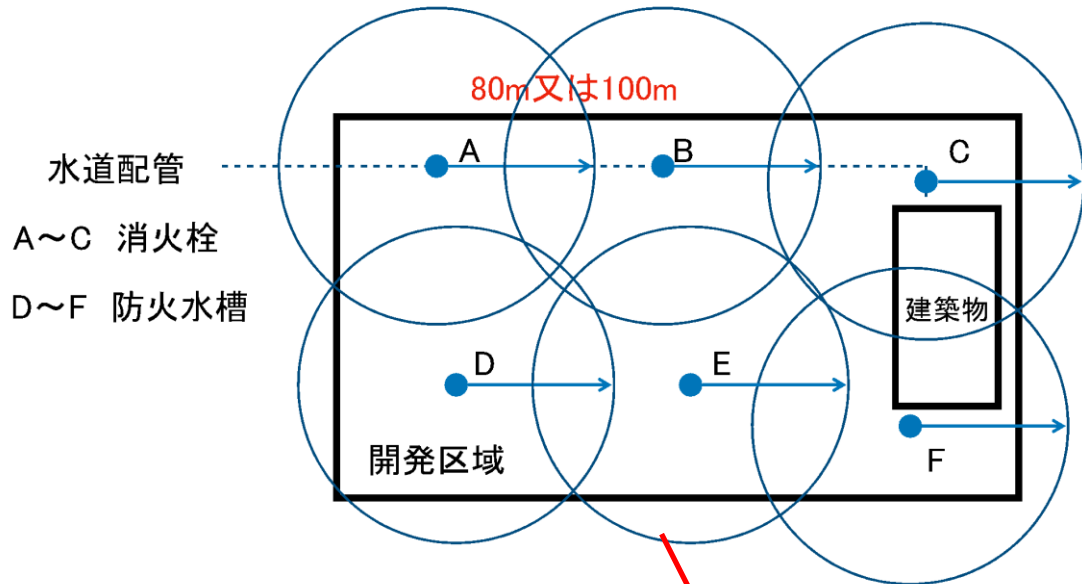
ア 市技術基準第 88 条第 3 項第 1 号により消防水利を配置し包含することが、事業計画上困難な部分又は消防活動上有効ではない部分



防火水槽 A 及び B の容量を 60 m³とする。

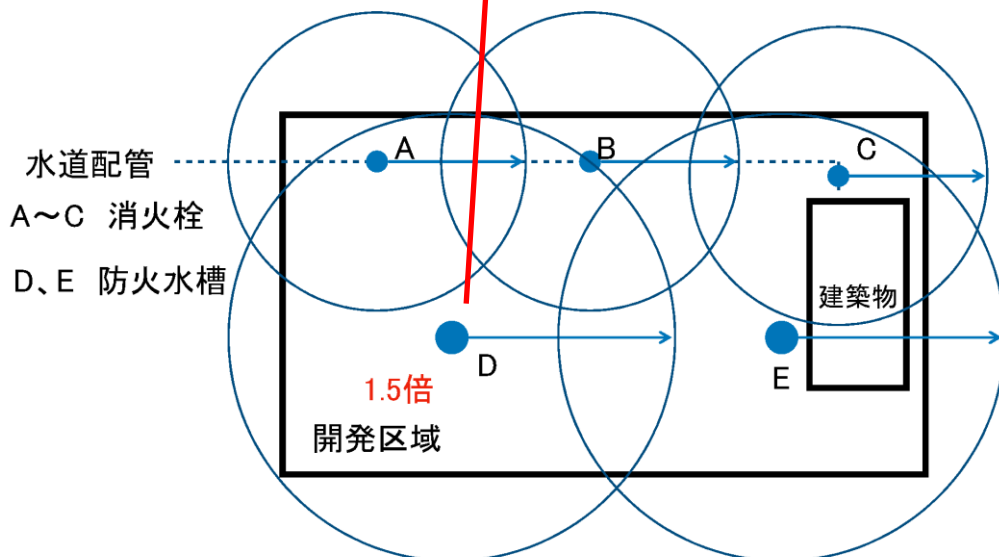


イ 開発事業区域内に、消火栓を設置できる水道配管の数が1以下であり、市技術基準第88条第3項第1号により包含するには、防火水槽を複数設置しなければならない場合。

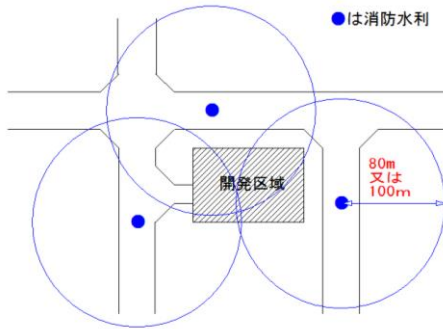


防火水槽 D 及び E の容量を 60 m³とする。

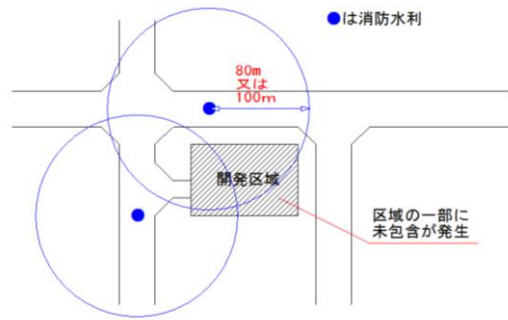
水道配管が1以下しかなく、敷地内に複数の防火水槽を設置せざるを得ない



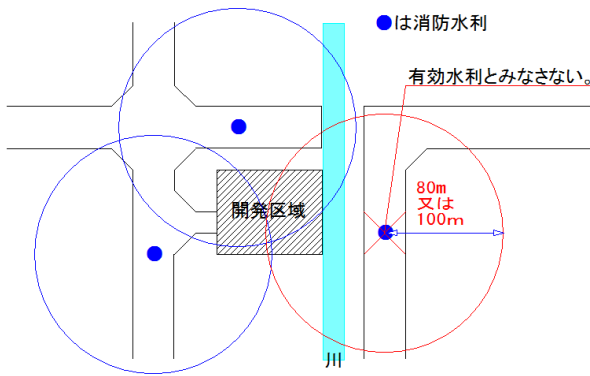
有効なホース延長の判定例



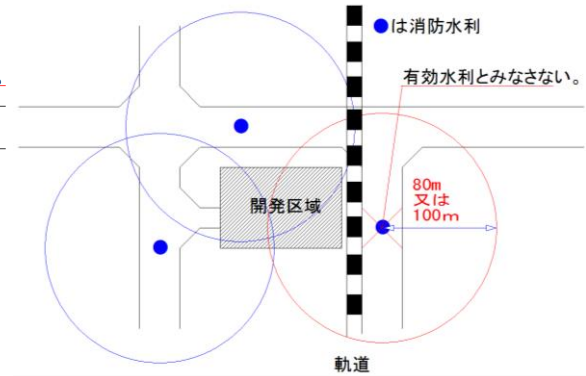
水利包含図例



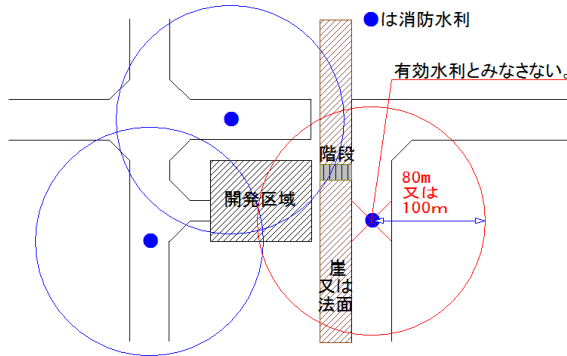
水利未包含図例①



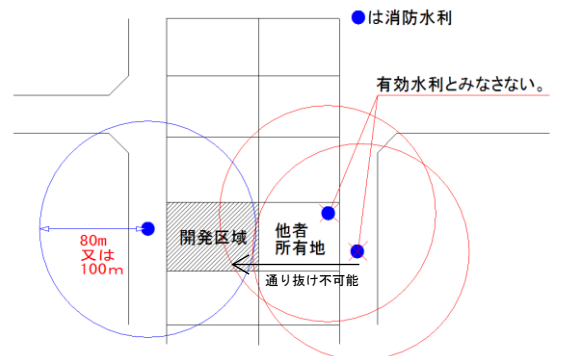
水利未包含図例②（川）



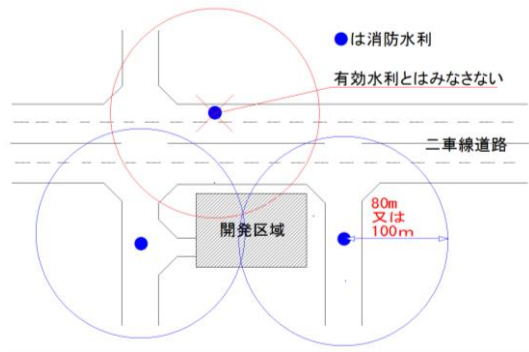
水利未包含図例③（軌道）



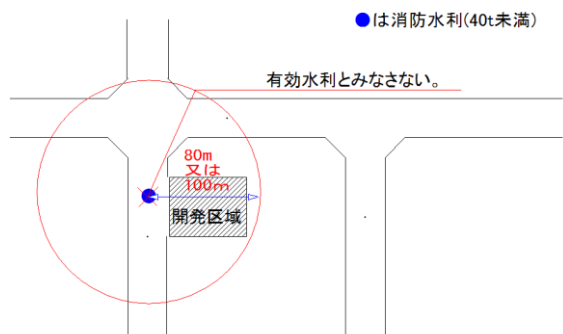
水利未包含図例④（階段、崖、法面）



水利未包含図例⑤（他者所有地）

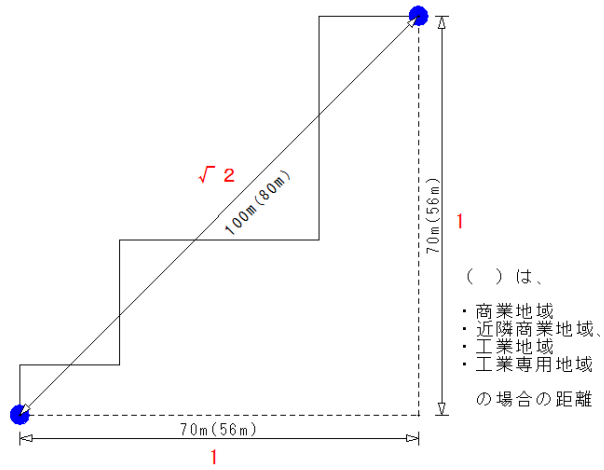


水利未包含図例⑥（二車線道路等）

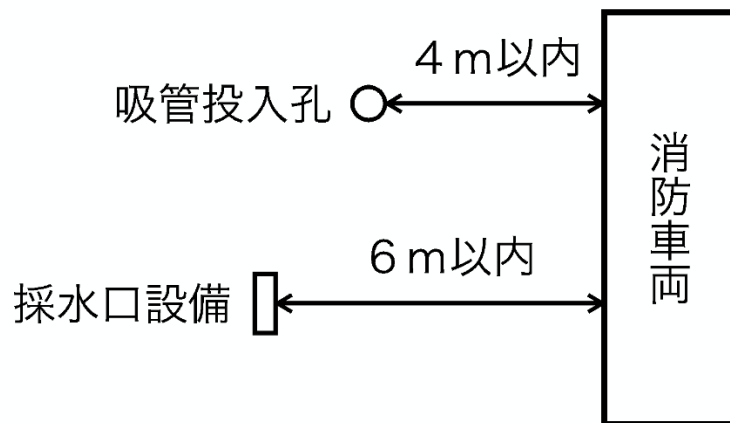


水利未包含図例⑦（40^m未満の防火水槽）

ホース延長可能距離

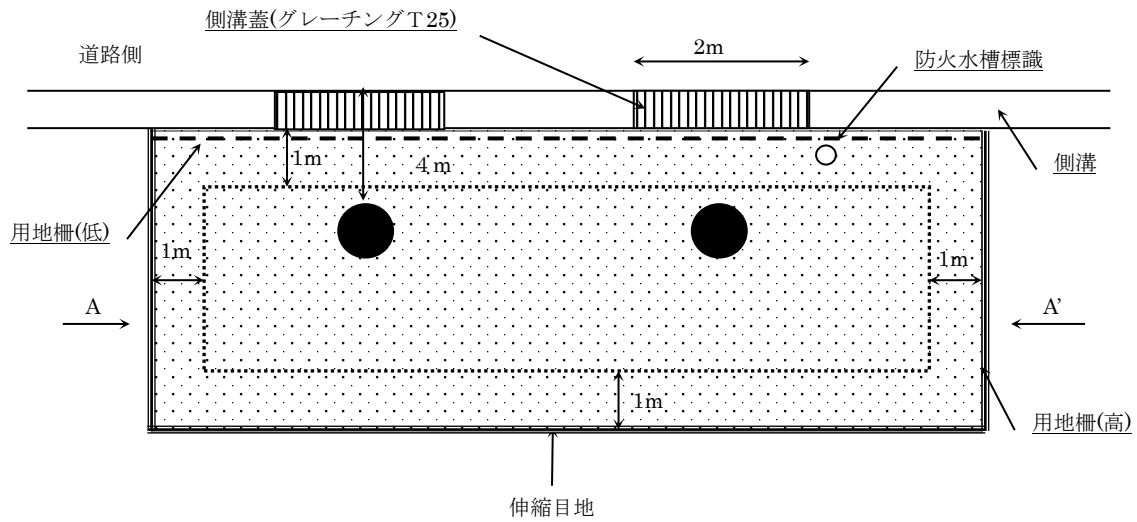


消防水利までの吸管延長可能距離

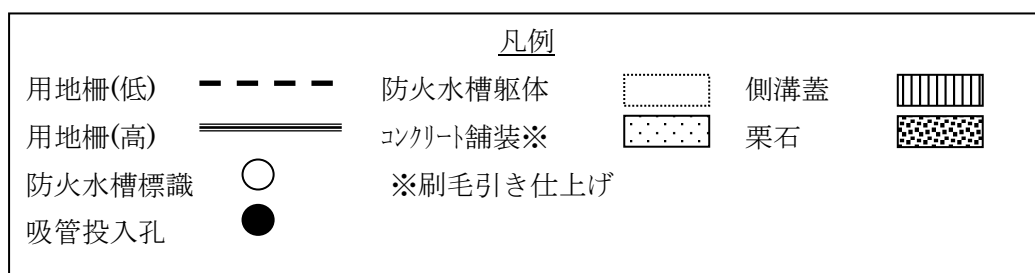
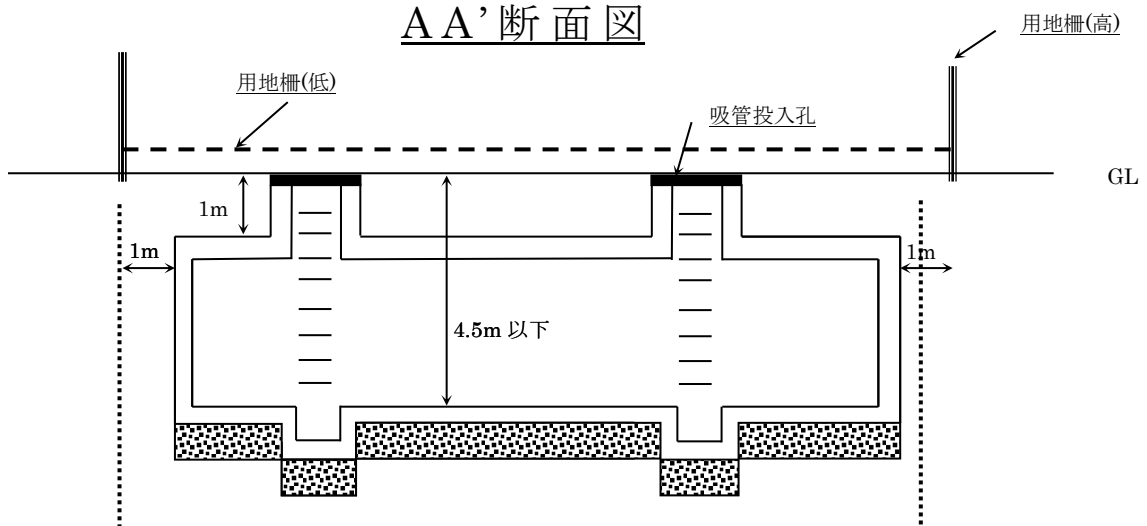


防火水槽構造図例 1

平面図

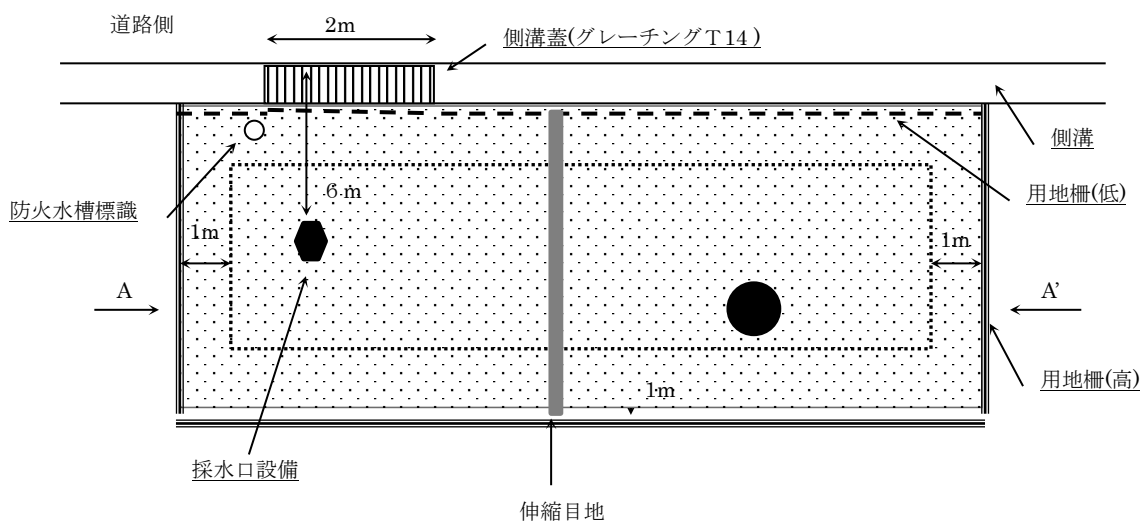


AA'断面図

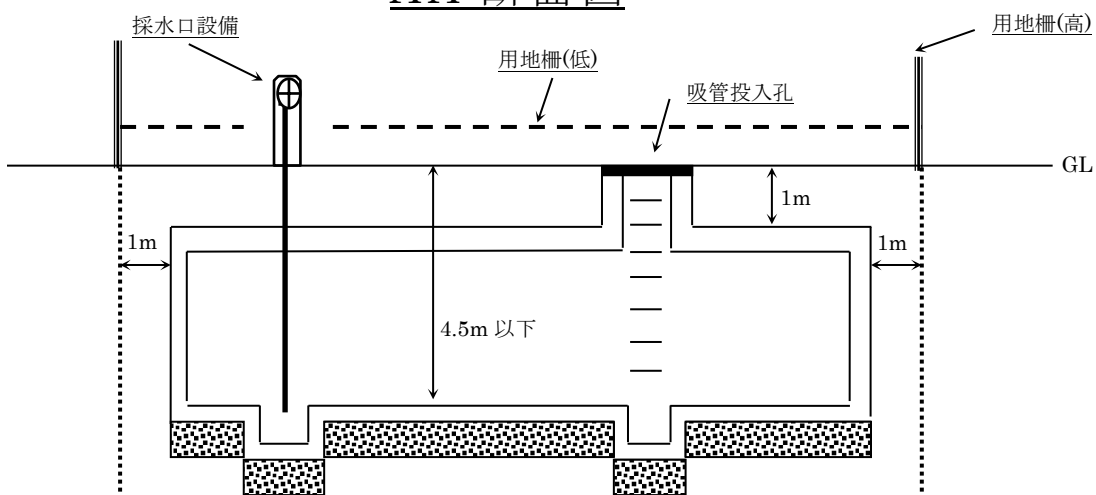


防火水槽構造図例2

平面図



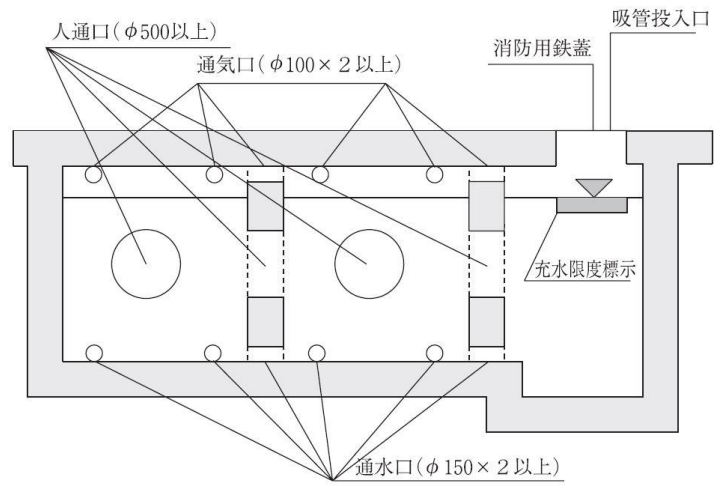
AA'断面図



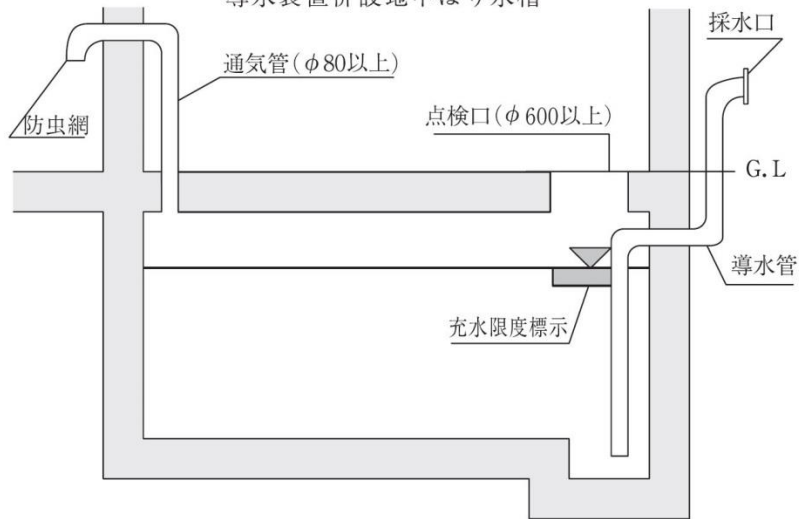
凡例					
用地柵(低)	----	防火水槽躯体	□	側溝蓋	
用地柵(高)	====	コンクリート舗装※	□	栗石	■
防火水槽標識	○	採水口	●		
吸管投入孔	●	※刷毛引き仕上げ			

地中ばり防火水槽図例

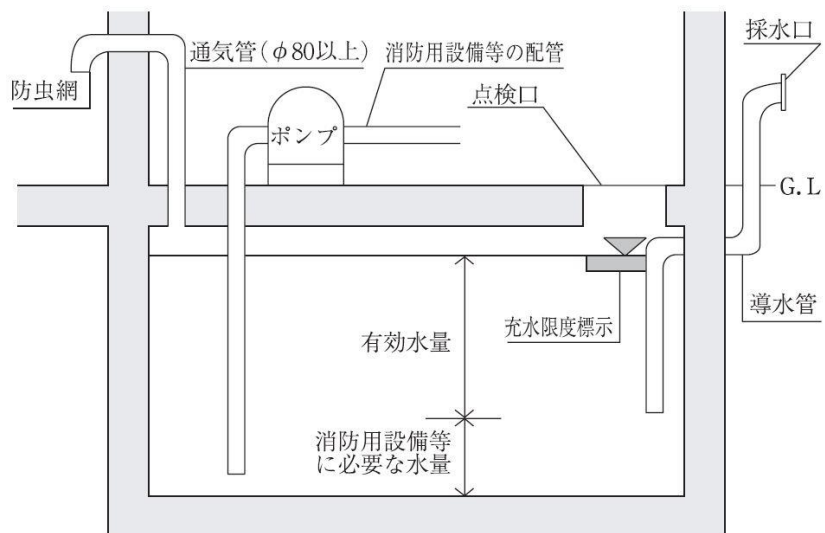
地中ばり水槽



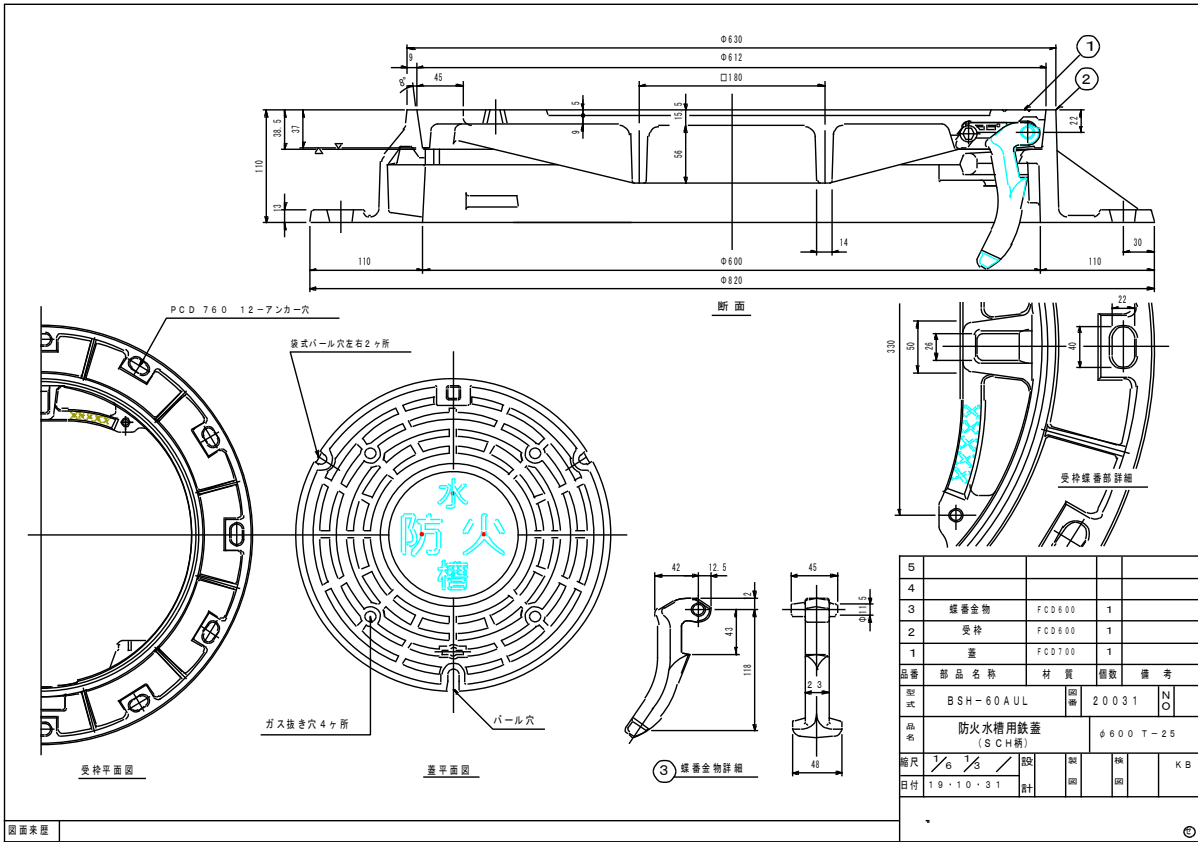
導水装置併設地中ばり水槽



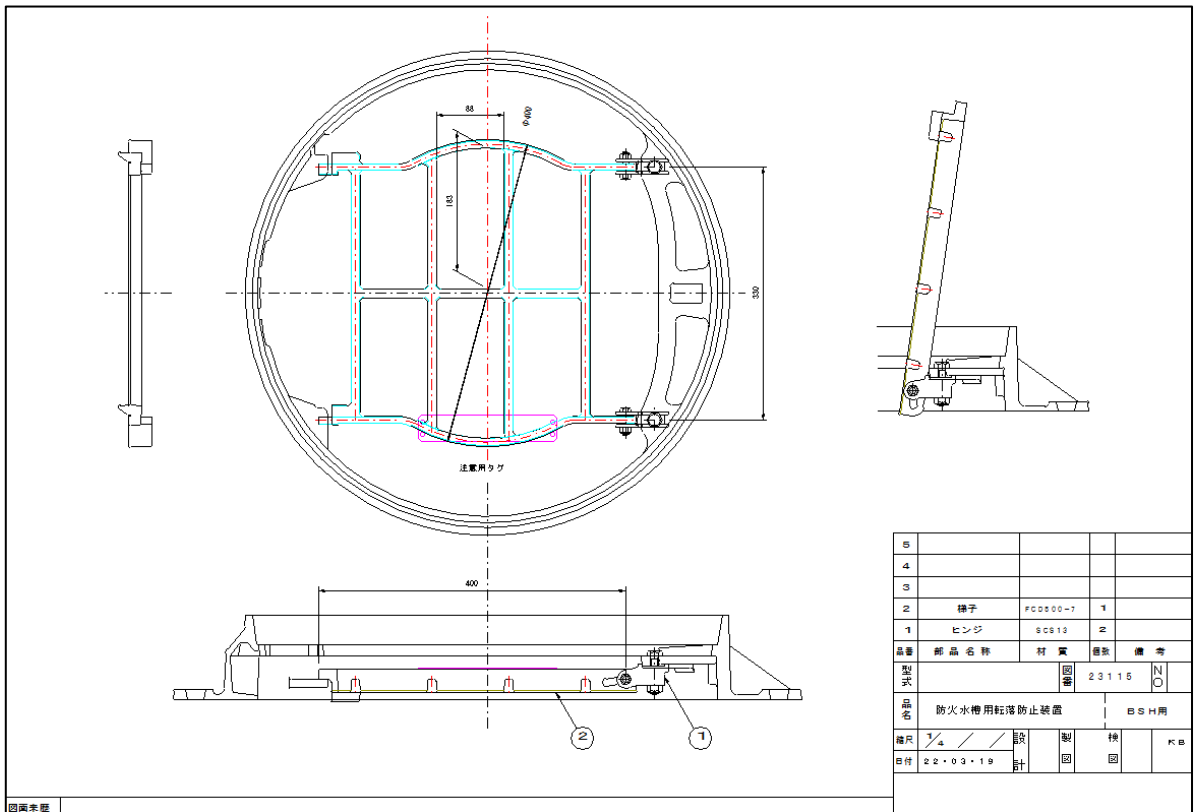
兼用地中ばり水槽



吸管投入孔蓋、転落防止措置仕様

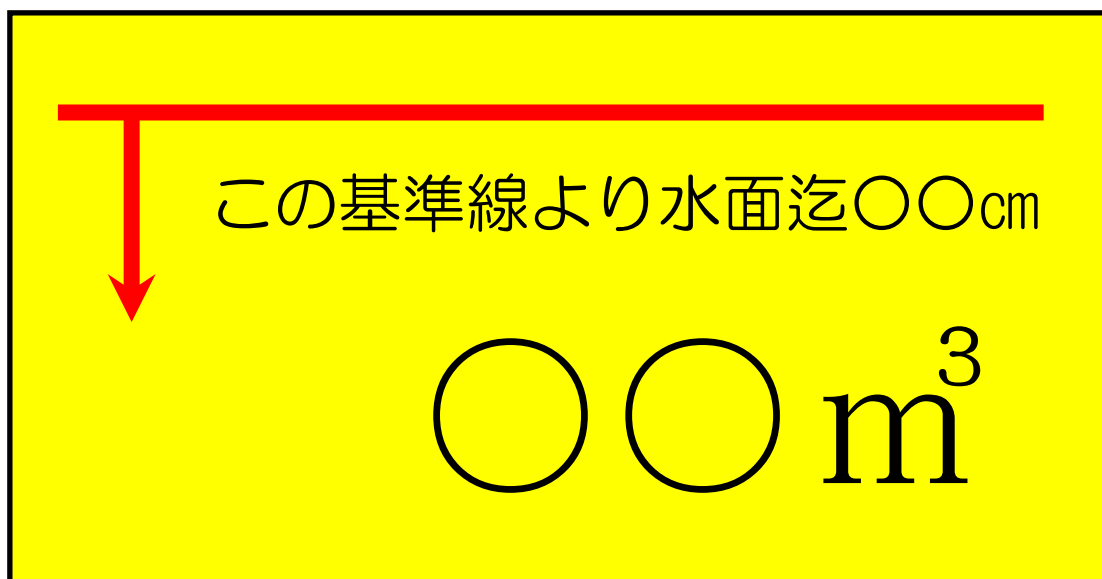


吸管投入孔蓋例



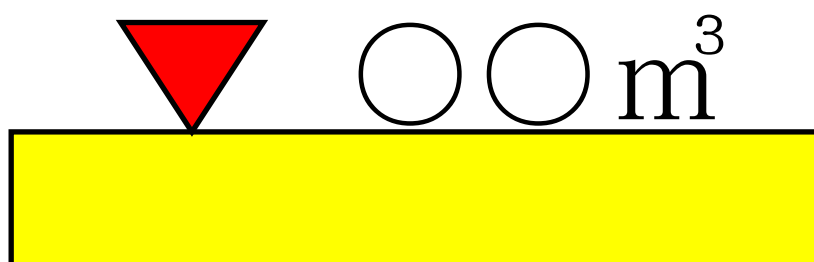
転落防止措置例

充水限度標示例



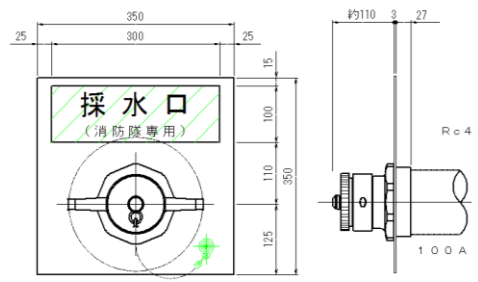
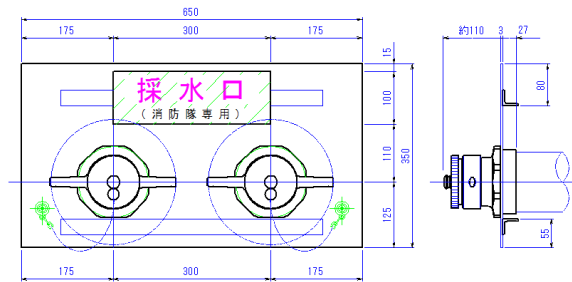
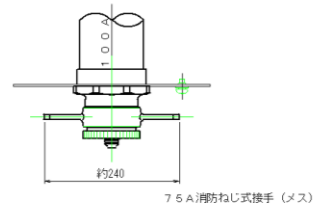
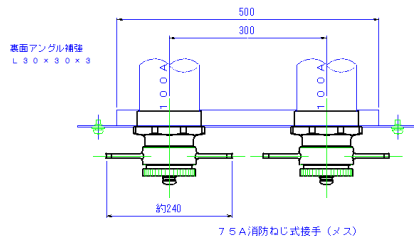
- 1 30cm×15 cm程度の大きさとし、吸管投入孔より容易に視認できる防火水槽首部にペイント、もしくは腐食のおそれがないプレートを作成して貼り付ける。
- 2 容量及び、基準線から水面までの距離を明示する。
- 3 黄色地に黒文字とし、矢印のみ赤字とする。
- 4 吸管投入孔より防火水槽壁面が容易に視認できる場合は、以下に定める充水限度表示に代えることができる。

充水限度標示例2（参考例）



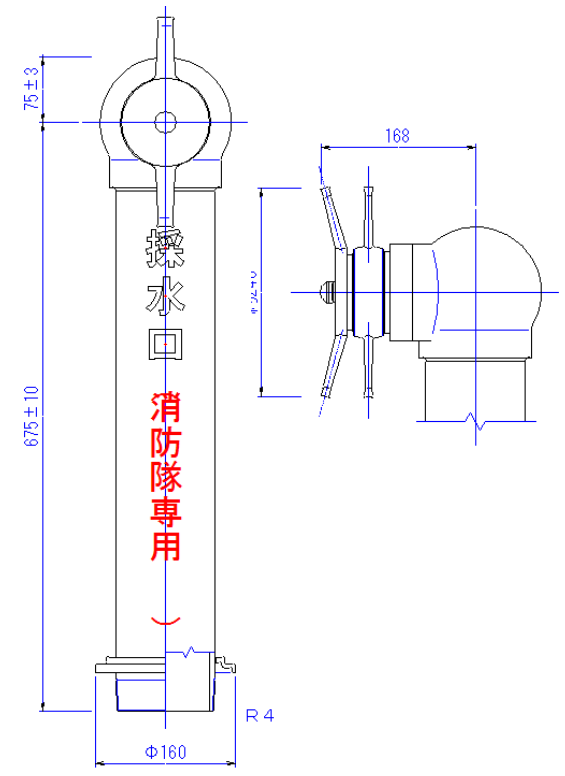
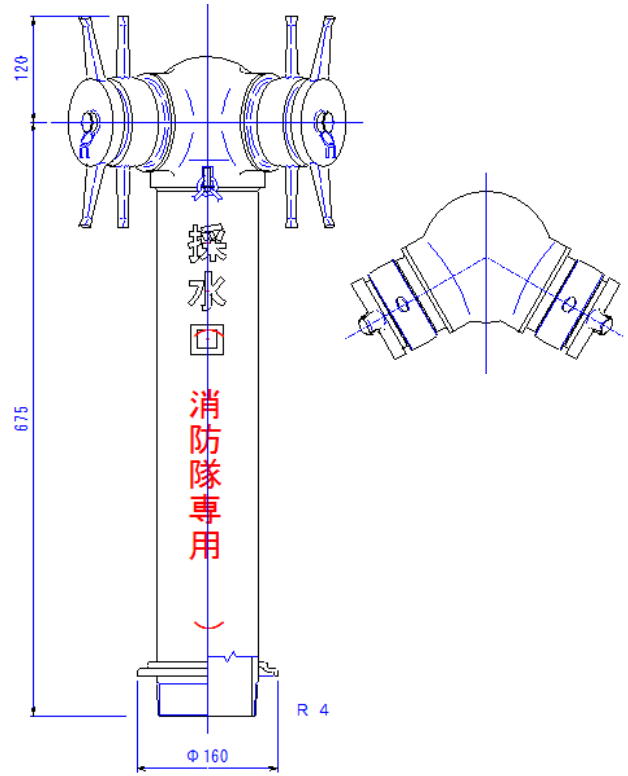
- 1 50 cm×20cm程度の大きさに黄色で塗装する。
- 2 三角形の頂点までの水量を明示する。

採水口設備（埋め込み、スタンド型）構造図例



壁埋め込み型採水口例（双口）

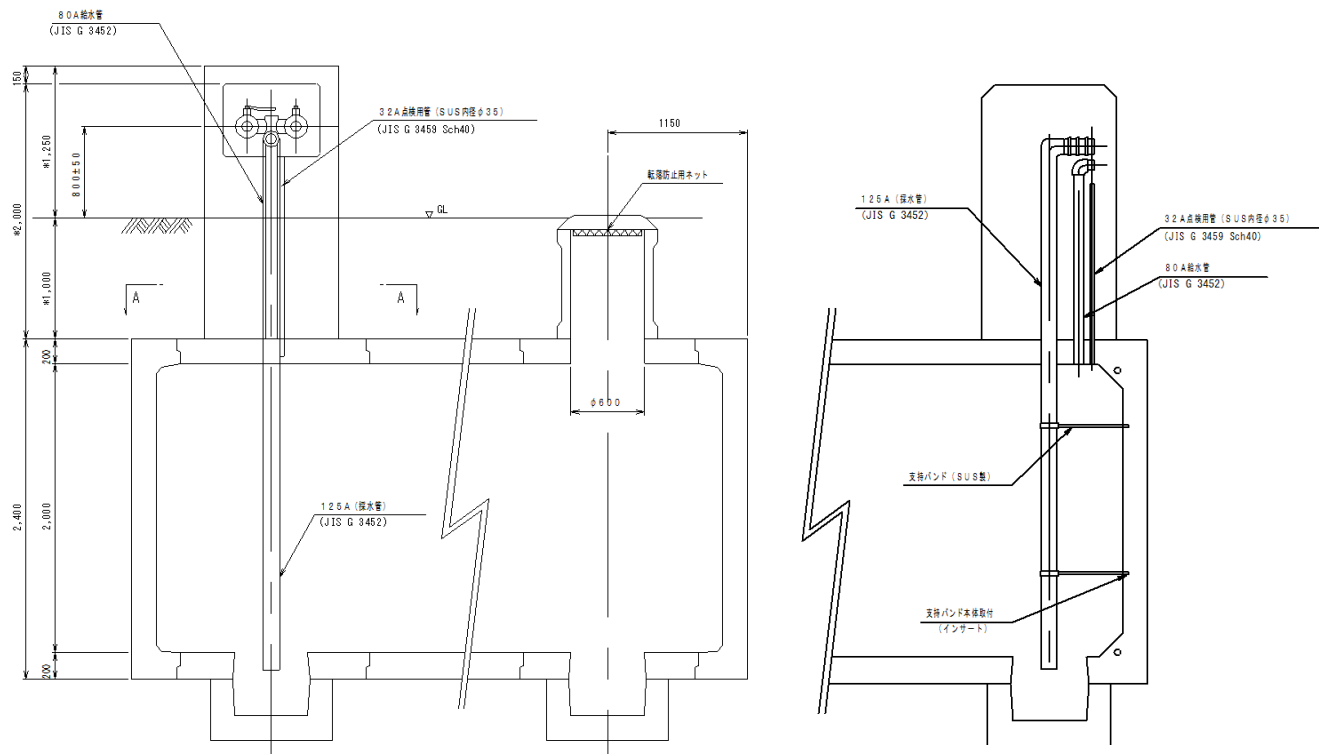
壁埋め込み型採水口例（単口）



スタンド型採水口例（双口）

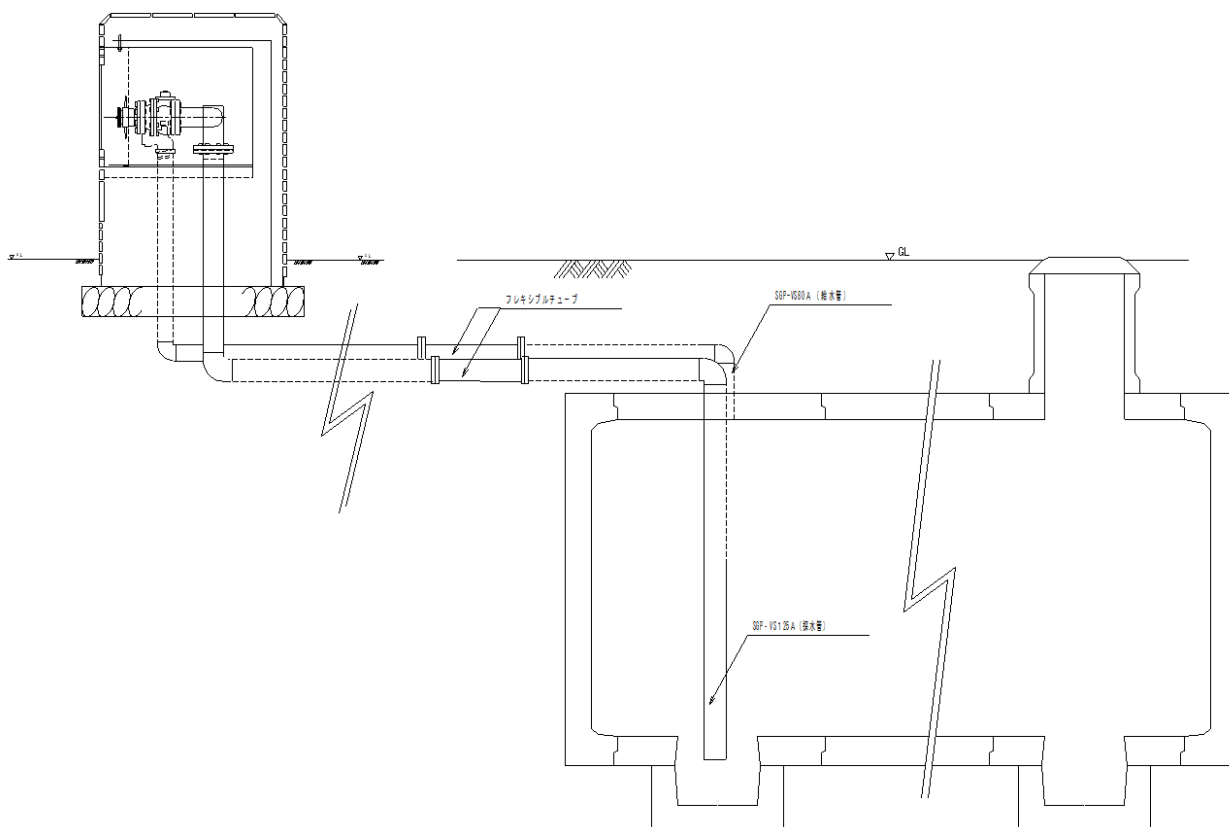
スタンド型採水口例（単口）

導水管図例



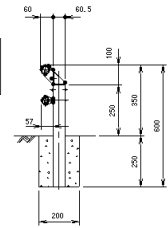
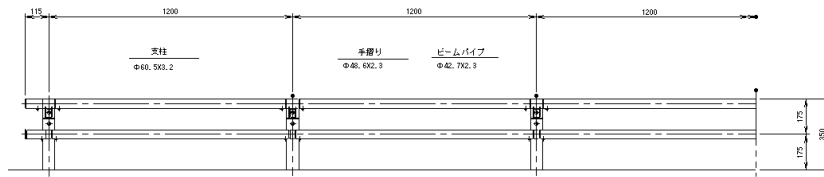
導水管立引き正面図例

導水管立引き断面図例



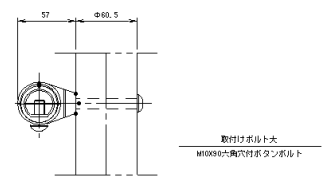
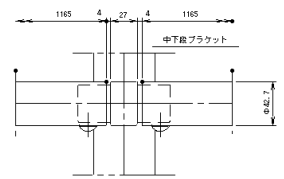
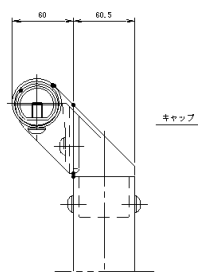
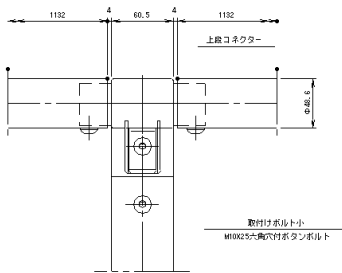
導水管横引き断面図例

防火水槽用地柵図例

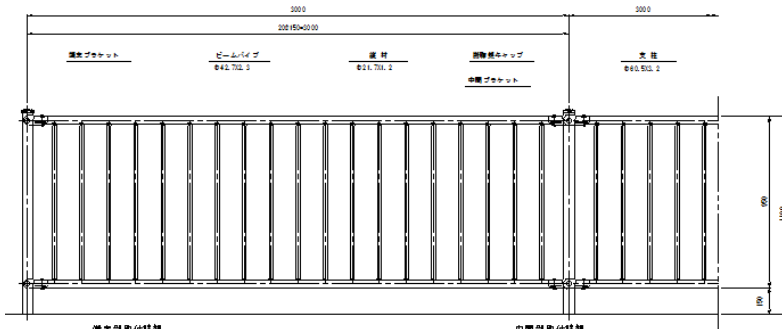


手摺り取付け部詳細
S=1/4

ビーム取付け部詳細
S=1/4



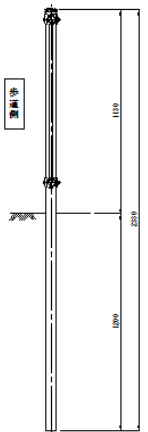
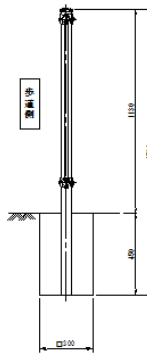
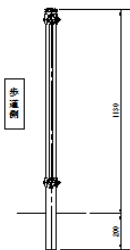
低柵 (道路側)



コンクリート埋込用(例)

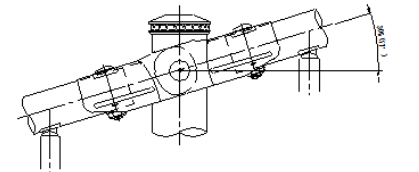
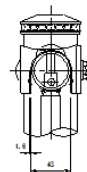
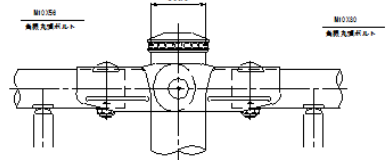
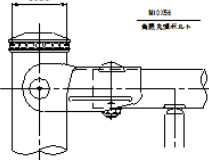
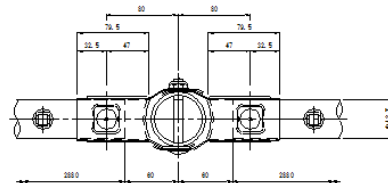
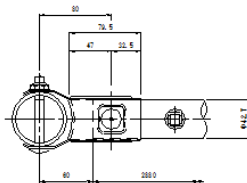
コンクリートブロック用(例)

土中用(例)



端部取付け部詳細
S=1/4

中間取付け部詳細
S=1/4



均配部最大30% (17') 中間取付け部詳細
S=1/4

※ 均配部最大30% (17') まで構造品で対応可能

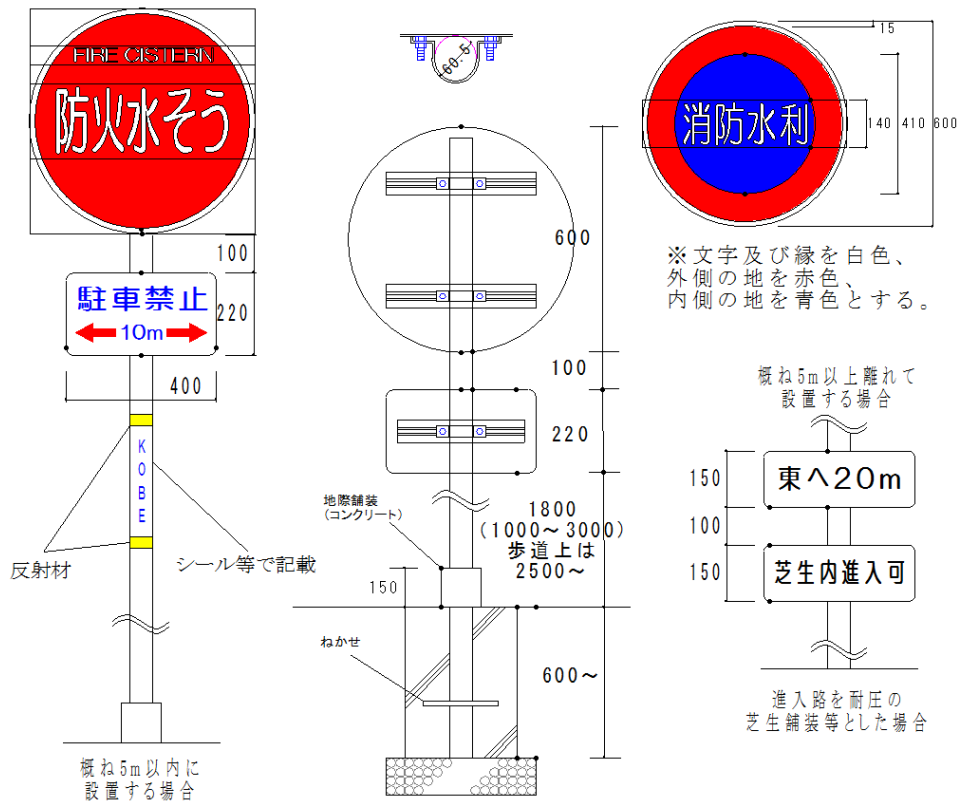
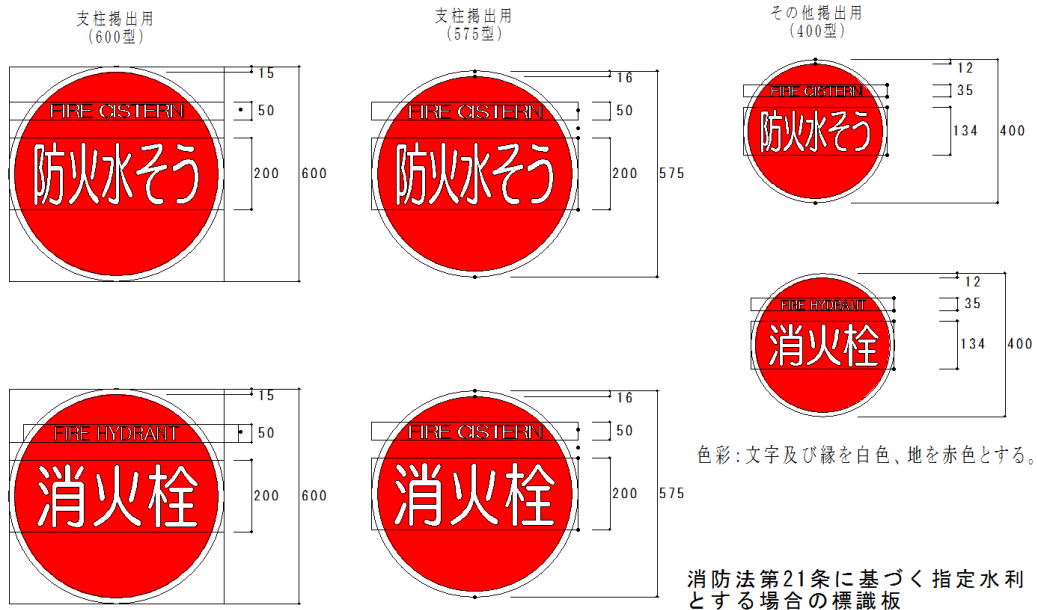
引付表

名 称	規格・寸法	数量 個/m	数量 個	長さ m	材質	備 考
支柱	Φ49.5S1, 201200	6.10	11	67.1	201, 400	コンクリート埋込用(例) (50から各ステップ⑤m)
	Φ49.5S1, 201600	7.23	11	79.5	201, 400	コンクリートブロック用(例) (50から各ステップ⑤m)
	Φ49.5S1, 202200	10.45	11	119.5	201, 400	土中用(例) (50から各ステップ⑤m)
パイプ	Φ42S280	24.28	10	242.8	201, 400	
端部 Bracket	PL1, 6	0.25	10	6.0	20, 400	
中間 Bracket	PL1, 6	0.17	4	0.7	20, 400	
蓋帽丸ボルト	M10158	0.05	40	2.0	4, 6	引付穴 Bracket・端部 Bracket
蓋帽丸ボルト	M10180	0.06	22	9.3	4, 6	引付穴 Bracket・端部 Bracket

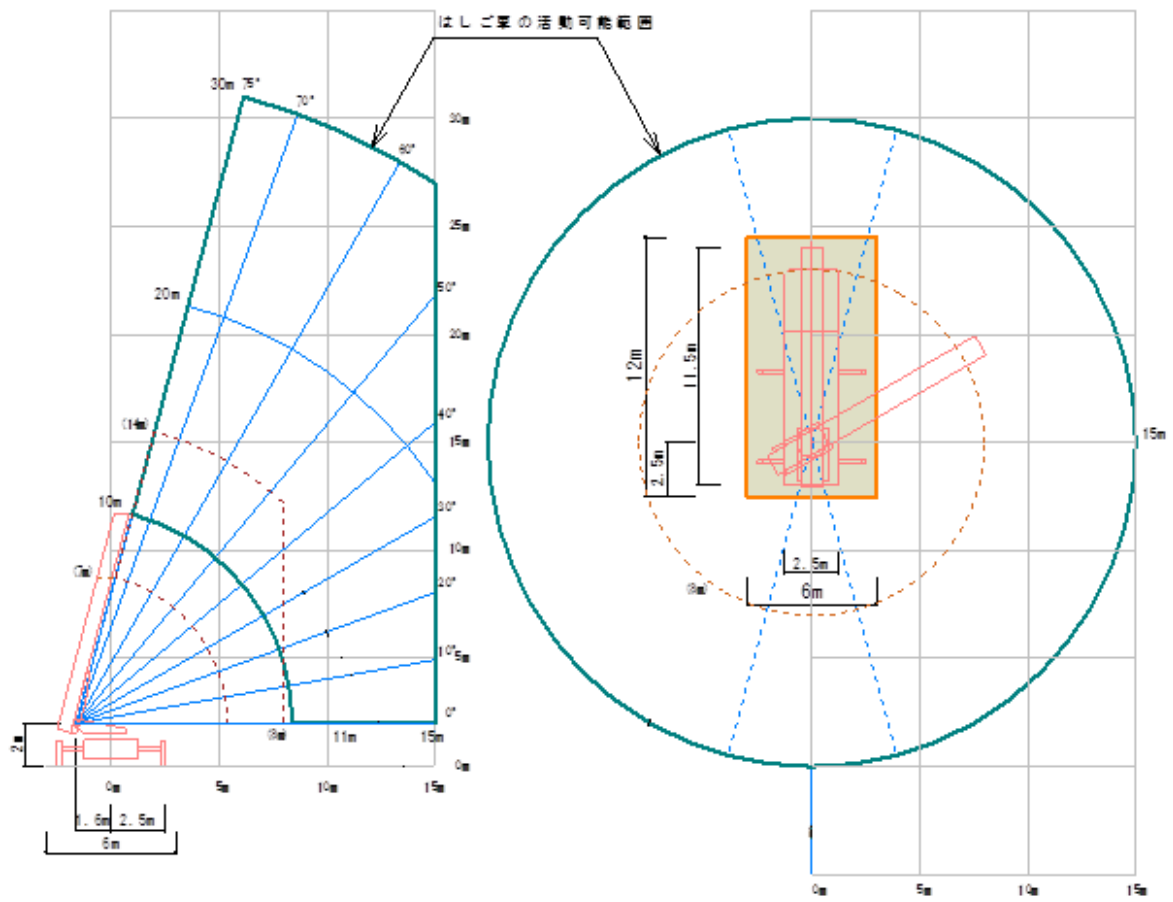
注記：本図は歩道側から見た図である。

高柵 (民地側)

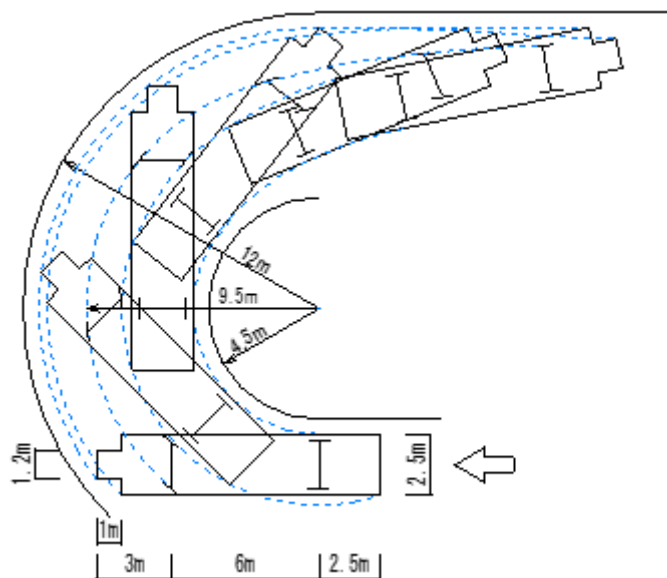
消防水利標識図（参考例）



消防はしご車の活動可能範囲



消防車両回転軌跡参考図



長さ	幅	高さ	前端オーバーハング
11.5	2.5	3.8	3.0

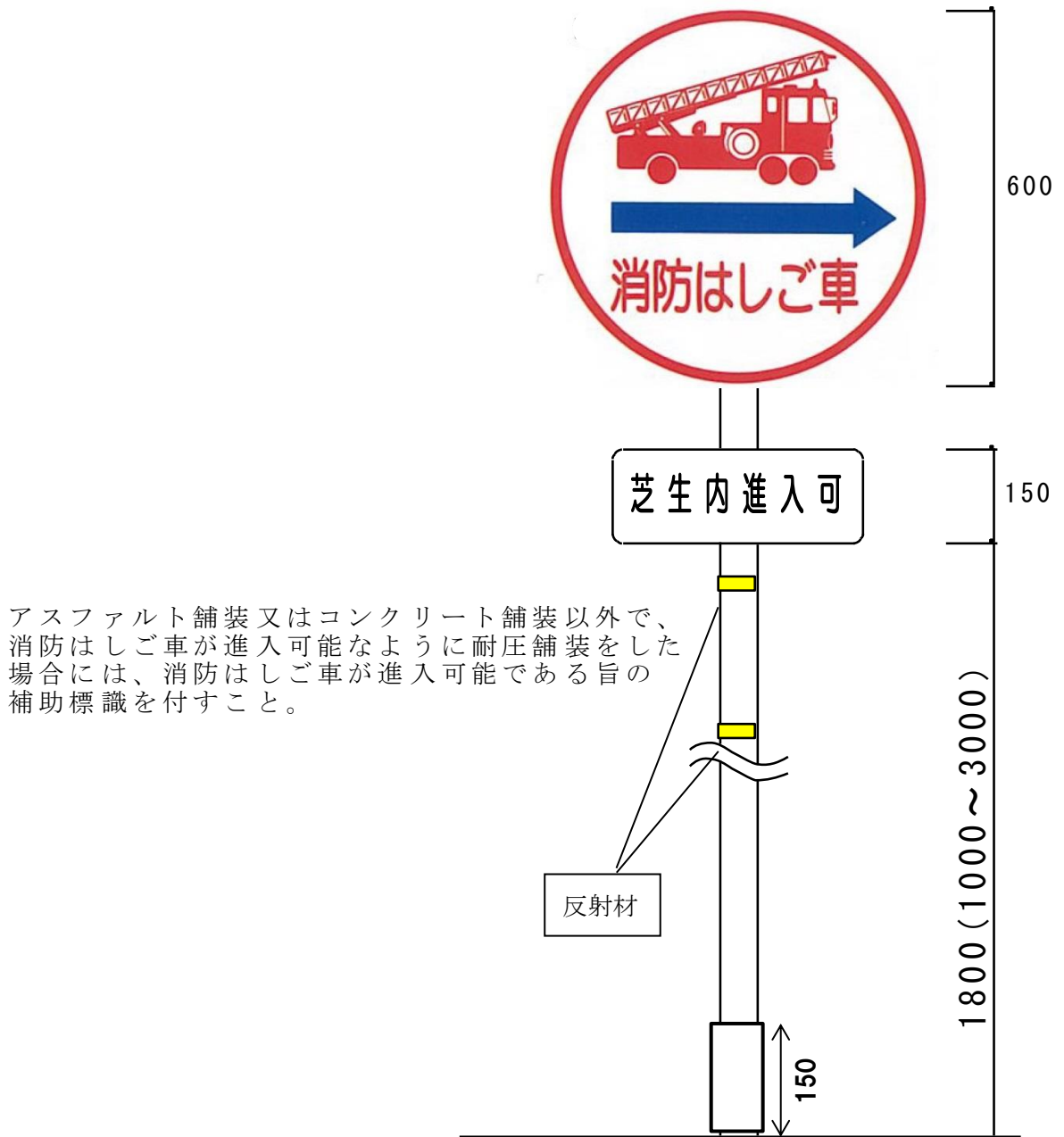
軸距	後端オーバーハング	最小回転半径	総重量
11.5	2.5	3.8	3.0

※総重量の単位はトン、その他の単位はメートルとする。

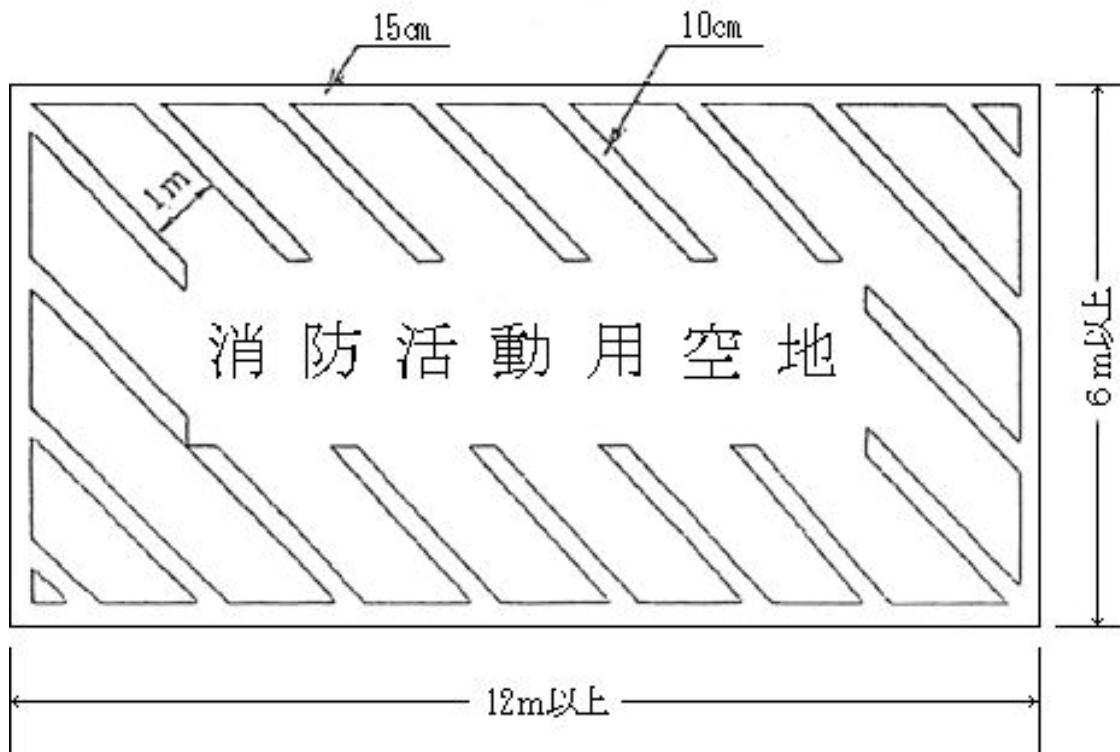
※用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- 1 前端オーバーハング 車体の前面から前輪の車軸の中心までの距離をいう。
- 2 軸距 前輪の車軸の中心から後輪の車軸の中心までの距離をいう。
- 3 後端オーバーハング 後輪の車軸の中心から車体の後面までの距離をいう。
- 4 最小回転半径 外側の前輪の回転半径をいう。

消防はしご車進入路標識図



消防はしご車活動空地標示図



別図第 17

消防はしご車活動空地標識図 (参考例)

